

都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業計画 事後評価

平成28年3月

【担当及び関係課】都市整備局緑化推進部公園整備課

計画の名称	広島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業計画				
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度（5年間）				
計画の目標					
バリアフリー化非適合公園についてバリアフリー化対応便所への改築及びバリアフリー化された便所の新設を市域のバランスを図りながら進めるとともに、老朽化等の著しい公園施設について改築・更新を順次行い、市民が安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。					
計画の成果目標（定量的指標）					
・29公園について、老朽化した都市公園施設の改築・更新を行う。 ・都市公園施設のバリアフリー化率について90%（H21当初）から、91%（H25末）に増加させる。					
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値		備考
			当初現況値 (H21当初)	中間目標値 最終目標値 (H25末)	
老朽化施設を改築した公園数。			— 箇所	— 箇所	29箇所
便所が整備された全都市公園数に対し、バリアフリー対応便所が整備されている都市公園の割合を測定する。			90%	— %	91%
評 価 事 項					
1. 要素事業の進捗状況					
事業費	H21	50 百万円	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業 ・29公園について、老朽化した都市公園施設の改築・更新を行う。 整備予定箇所29箇所中15箇所について整備をおこなったが、H23より社会資本総合整備計画へ移行したため、残り14箇所については次期計画の元で引き続き整備を行う。 ・都市公園施設のバリアフリー化率について90%（H21当初）から、91%（H25末）に増加させる。 整備予定箇所24箇所中11箇所について整備をおこなったが、H23より社会資本総合整備計画へ移行したため、残り13箇所については次期計画の元で引き続き整備を行う。		
	H22	171 百万円			
	H23	— 百万円			
	H24	— 百万円			
	H25	— 百万円			
	合計	221 百万円			
2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況					
要素事業の効果の発現状況	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業 既存の都市公園について、便所等の都市公園施設のバリアフリー化を推進するとともに、老朽化して危険を伴う施設の改築・更新を行った。 ・29公園について、老朽化した都市公園施設の改築・更新を行う。 整備予定箇所29箇所中15箇所について整備をおこない、公園利用者が安全で安心して公園を利用できるようになった。 H23より社会資本総合整備計画へ移行したため、残り14箇所については次期計画の元で引き続き整備を行う。 ・都市公園施設のバリアフリー化率について90%（H21当初）から、91%（H25末）に増加させる。 整備予定箇所24箇所中11箇所について整備をおこない、公園利用者が安全で安心して公園を利用できるようになった。 H23より社会資本総合整備計画へ移行したため、残り13箇所については次期計画の元で引き続き整備を行う。				
目標値の実現状況	指標： 老朽化施設を改築した公園数。		達成状況：— 要因： H23より社会資本総合整備計画へ移行したため、次期計画の元で引き続き整備を行う。		
	最終目標値（H25末）	目標値と実績値に差が出た要因			
	29箇所				
	最終実績値（H22末）				
	15箇所				
	指標： 便所が整備された全都市公園数に対し、バリアフリー対応便所が整備されている都市公園の割合を測定する。				
最終目標値（H25末）	目標値と実績値に差が出た要因	達成状況：— 要因： H23より社会資本総合整備計画へ移行したため、次期計画の元で引き続き整備を行う。			
91%					
最終実績値（H22末）					
90%					
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況					
3. 今後の方針					
本計画において未整備の個所については、H23より新たに策定している社会資本総合整備計画へ移行し、引き続き整備を行っていく。					
4. その他特記事項					